

石原新一

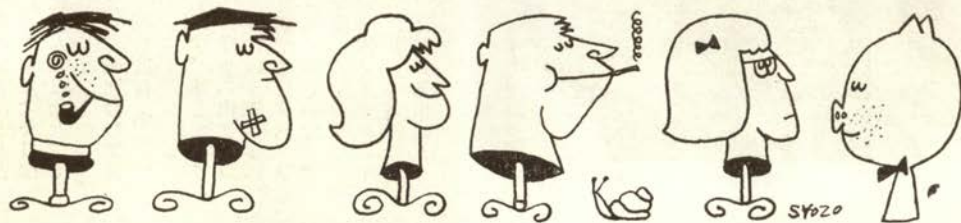
## ★ 座 談 会 ★

神戸っ子が語る

# 現代学生気質

□司会□ 古 林 喜 楽 (神戸大学教授)

□出席者□ 松原新一 (京都大学卒 文芸評論家) 石浜みか子 (神戸女学院英文科 4年生)  
十河英二 (神戸大学経営学部 4年生) 多木靖司 (甲南大学経営学部 3年生)  
山中英雄 (関西学院大学商学部 2年生)



——今日は、若いみなさんにお集まりいただきまして、学生生活について、あるいは、今の世の中に對する不満や意見などを、大いに放言がたいと思います。

古林 それでは、はじめにみなさんの自己紹介を聞かせてもらいましょうか、まずレディファーストで、あなたから、どうぞ……。

石浜 私、神戸女学院の4年生で専攻は英文科なんです。ほんとは今年卒業なんです。去年1年間、イスラエルの方へ留学していましたが、そのため、もう1年間勉強することになりました。(笑)古林 イスラエルでは、何を研究して来られましたか。

石浜 社会福祉関係と農業を中心にした協同組合関係の研究です。ちよつと話がかたくなりますけど、今、日本でよく農業の構造改善なんて言われてるでしょ、ああいうことなんか、とっても興味ある問題なんです。

松原 イスラエルで何とかいう協同体のようなのがありましたね。

石浜 ええ、キブツっていうんです。私、4カ月間その組織の中で生活しましたが、半日は果物もぎや子供の世話やお皿洗いをなどをして働き、後半日は研究所へ通ってヘブライ語などを勉強してききました。

十河 僕は大阪出身ですし、豊中に住んでますので、神戸っ子とは言えないんですが……。しかし、神戸はいいところだと思います。海あり山ありで立地条件がすばらしいですね。神戸大学の経営学部4年です。応援団の団長をやっております。応援団の顧問が古林先生ですから、いつもお世話になっ

ています。

多木 甲南大学の経営学部3年生です。住いは東灘区なんです。クラブではブラジル研究会といっています。ブラジル移民の研究など主にやってるんですが、何しろ、遠い所ですので資料が少いという悩みもあるんですが、みんなはききって海外遠征ということに心を燃やしています。

山中 関西学院大学商学部2年、山中です。クラブ活動は、講演部に入っております。一般的には弁論部と言われていますが。

この部に入りたいきさつといいますが、高校時代、受験勉強していましたが、あることを考えて、自己の思想を確立しないといけないと思ったことがきっかけでした。芦屋高校の頃から芦屋に住んでいました。神戸にはいつも来てます。

松原 京大の教育学部を今年出たところなんです。今の学生には小田実さんの「何でも見てやろう」風の、非常に広い視野を求めて外へ出ようとする健康な精神があるように思いますが、僕らは、

「何でも見てやろう」と思っている第一にお金のことを心配したんですよ(笑)だから、学生の頃は、友達の下宿を行ったり来たりして議論やけんかにあけくした、とても貧しい毎日でしたね。

学校では教育学をやったんですけど、今は、全然関係のない文芸評論という仕事をしてあります。大体、文芸評論とか文学というのは社会には最も有害な仕事だと思えますが。(笑)

松原さんは「群像」の文芸評論で、本年度新人賞を受けられています。

古林 そうすると、経営学部が2人に商学部1人、教育学部と英文学部1人ずつというわけですね。いやなかなかバラエティにとんだメンバーで楽しいですね。今日は諸君にさくばらんにはなしてもらいましょう。

多木さんはブラジル研究会の部長さんでしたね、部員は何名位です。

多木 現在35名です。略してブラ研と言ってます。学生の内にブラジルへ進出しようという者が多いです。同じブラ研でも三ノ宮ブラ研もやったり(笑)楽しいです。古林 早稲田や慶応大学の学生など、在学中に、団体でメキシコやアメリカへ行ったりして盛んですね。関西地方では海外進出はどうですか。



十河英二君

多木靖司君

松原新一さん

石浜 割合にありますね。4年生の時に1年間十分に準備しておいて、卒業と同時にオーストラリアへ女の子ばかり4人で親善旅行に出掛けたという例もありました。古林 そうそう、帰って来られてから、私もお話を伺いましたよ、たいへん活躍してこられたそうですね。

外国へ行ったり、戻って来ないという人もあるそうだが、この間、慶応の学生で、今年卒業というのに、卒業式までに帰って来られなかった、それでどうしても卒業式気分を味わってみたいというので、早稲田大学の卒業式にまぎれ込んで気分を味わったなんていう面白い話があるそうですね。(笑) 神戸大学の場合、ブラジルへ渡る学生には奨学金も出ていますし、あちらへ行けば必ず就職先もありますから、年に2、3人ずつは就職して行ってるようです。南米銀行の創設者は神戸大学の古い卒業生なんです。

市電の中でたくあんを食べる

古林 話題を変えまして、新卒の松原さんに、純真な目でご覧になった、現代の学生についてのご意見などお聞かせ下さいな。

松原 自分の体験のエピソードなんですけど、学生運動とか、クラブ活動で若さのエネルギーというのは、はけ口として、人がやらないような事をやる勇気を試し合っただなんていう事もありましたね。

例えば、京都の市電の中で、多勢の人が乗っている中ですよ、大きな、たくあんを食べられるかど



うかて二千円の賭をした友達がいましてね(笑)僕はその2人について市電に乗ったんですが、市電のど真中にどつかと腰かけて、その男は、前に妙齢の女性が3、4人も並んでる前でポリポリ食べ出したんです。最初は見て見ぬふりをしていた彼女達もあつてね。とられ席を移してしまいましたね。もう一つ、学校の門の前で、みんなを集めて来て、小便をやらないかというプランも出て、まあ、こっちの方は実施しませんでした(笑) こういう2つのケースをいわれる病的な傾向だという人もあるし、非常に納得できるという人もありますが。結局、自分の青春を賭けて生きるという、その対象が見つからない、目的を求めているお得られないという状態なんですね。

『女子にさえてできないことが男子にできるはずがない』

古林 近頃、女子学生の数が増えてきたようですね。

松原 そうですね。一学年で6、7人位いました。文学部で全体の4分の1位でしょうね。

古林 神戸大学の文学部では女子は半数を越えましてね。女子の方が入試の成績も、学校での成績もよく、上位はみな女子学生がしめています。卒業式の右総代も女子です。今頃では「女子にさえて出来ないことが男子に出来るはずがない」という言葉が流行ってるそうですよ。(笑)

サークル活動でも女子は男子と同等にやっておる、マンドリンクラブなんかでも、校庭で仲良く弾いてる風景をよく見ますね。私なん



山中英雄君

石浜みか子さん

古林喜楽教授

かずいぶん羨ましいなあと思うんですよ。早よう生まれて損をしたと思ってるね。(笑)

石浜さんの学校では、男子禁制ですから、男子を入れないなどという希望はありませんか。

石浜 別ないようですね。ほと

んどの人が共学でないことをのぞんで入ってると思いますので。その代り、校外のダンスパーティーやなかで、みな結構楽しんでるようです。関学もずいぶん女子が多いようですけれど……。

山中 そうですね、文学部なんて七割まで女子学生です。

多木 甲南も多いですよ。文学部の授業風景は愉快だね、前の方のいい席は勿論、ほとんどが女子で占められていて、男子は片隅で、おとなしくノートを取るという具

合なんです。(笑)

古林 先程、女学院では、他の学校のダンスパーティーに出掛けると言われましたが、交際をする学校は何処、と決まってるわけですが東京じゃ、組合せが決まってるって聞きましたかね。

石浜 特に決まってるんですけど、私が1年生の時でしたが、阪大の学生から私たちにデイトの申込みがあったんです。それで一度、合同ハイキングに行ったことがありますが、次の年に学校側がちよつと淡い顔を出したのでそれきりになりましたけど。

松原 京大では同志社の女子学生と合ハイに行くようです。そういうきっかけで意気投合して婚約結婚と進行する場合もあるとか。

結婚の相手は美貌よりも健康で信頼のおけるひと

古林 学生時代に話がまとまるというケースもあるんですね。十河君、神大ではどんな具合ですか。

十河 僕自身、結婚というところに対して疑問を抱いているところです。アルバイトで家庭教師に行っている家庭で見る夫婦というものが僕には分らないんです。子供達のためにやっきとなっていて、自分達だけの世界がないように思えて、男も女も愛し合っているって信じて結婚しても、途中で嫌になっ

てしまうかも知れないし。(笑) 長く続けられるものかどうか、疑問だらけで信じられないのです。

古林 十河君、僕なんか長う結婚生活を続けてる方で、そんな風に言われるとちよつと具合わるい感じだな。(爆笑)

そりやあね、いいもんなですよ

夫婦の味というものは、若い諸君にはまだわからんでしょうがね。

何故、長続きするかというと、やはり、世界中何処にもない、唯一無二の自分達で作り上げる家庭という信念に基づくと思います。いろんな波瀾万丈を越えてなお長くつづけられて来た夫婦生活こそ最上のものだと思えますね。家庭は子供を生み育てること、つまり人間づくりの場なんです。

十河 そしたら結婚生活の中心は子供にあるんでしょうか。僕は、夫婦が中心であるのがほんとうじゃないかと思うんですが。

松原 名前はちょっと忘れましたが、アメリカのある社会学者が、結婚についての本に、「結婚とは子供を守ることを一つの目的として生まれた制度である」ということを書いておりますね。その人の上げたデータによると、哺乳動物としての人間の女性は、本来の自然状態にあるなら子供は40人位産む能力があるそうです。(笑)子供を沢山生んだ方が、女性も長生きするとも言っています。

それからこれは笑い話ですけどねイギリスのバーナードショーがある人から相談を受けたんですよ。

向うでは金曜日に結婚すると縁起が悪いといわれているけど、どうして金曜日に結婚してはいけないんでしょうかとね。するとバーナードショーが「君はおかしなことをいうね、何曜日に結婚しても、結婚に対して後悔しないことはないんだから、又、結婚しなくても後悔するものなんだから」と答えたそうです。(笑)

味のある言葉ですね、なかなか。古林 諸君達の場合は、自由に男

女の交際ができるという上に立つた悩みなんでね。

十河 ええ、比較的、いろいろな女性と接する機会も多いですから例えば、ある女性と結婚しても、その後から、もっと素晴らしい人が出現しないとも限らない。(笑)松原 そしたら日本中探さないとい困るということになる。(爆笑)

十河 近頃の女性というとか何か香港フラワーのような感じがしますね。パツと目立つ恰好していて、一瞬ひきつけられるけれど、中味は個性がなくて退屈です。美貌なんて皮膚の厚みにすぎないですね

古林 それではちょっと伺います、みなさんの理想の相手は。

石浜 やはり信頼の出来る男性ですね。自分と共にこの人生を歩むことができるという信頼を途中で裏切るようなことのない男性が理想です。

古林 絶対に妻を裏切らない男ということですね。それで経済能力ということについてはどう考えますか。

石浜 やはり、子供2、3人あっても暮らしていける程度でないと私は日本的な意味で生活を落して生きていることを考えたくないんです。人間としての生活にはある水準があると思うんです。

古林 よく分りました。それじゃ次に多木君はどうですか、結婚の相手として考える時、美貌は何番目位になりますか。(笑)

多木 僕は美貌ということはあまり考えません。気が合うということが第一だと思っています。

古林 そしたら、少々不美人でもかまわんですか。山中君はどうですか(笑)

山中 僕はまだそういうことを考えてません。十五、六年さきです。

古林 松原さんは学生結婚と伺いましたか。

松原 いやあ、僕達の場合2人とも経済能力がゼロの所から出発しましたから、条件もなにもあったもんじゃなかったですね。

古林 どうにも仕方のない程惚れ合ってたというわけですね。(笑)

十河 ところで結婚したとして両親との同居という問題についてはどう考えますか、絶対に反対ですか。

石浜 一概に反対とは言いませんけど、やはり親達の生活と自分達の生活の区別がなく、経済も一緒などというのはいけないと思います。それは新しく生まれた夫婦に対する人権を無視していることにもなります。多少の干渉はあっても、独立した夫婦単位の生活が守られるのがほんとうだと思います。

古林 松原さんの場合は両親の反対はありましたか。

松原 いいえ、始めっから両親達もあきらめてたのか、反対はしませんでした。2人とも自活力がありませんでしたから、2人で努力して今までやって来たわけですよ。

ほんとうの愛国心は世界的な視野のなかから

古林 みなさんは、非常にお若いですが、私なんか明治生まれの石頭で「天保銭」といわれても仕方がないと思ってるんですが、どうですか、みなさんの澄んだ目で明治生れの人間をどう見ているか、忌憚なき意見を聞かしてもらいたいですな。

松原 そうですね、僕はほとんど





きものと細貨

東京

神戸

銀座店  
/TEEL  
L.L.

東西  
店/TEEL  
店/TEEL

小松  
(572)(571) ③③  
5008  
1186  
5103  
1026  
階(代)79(代)

おんがら屋



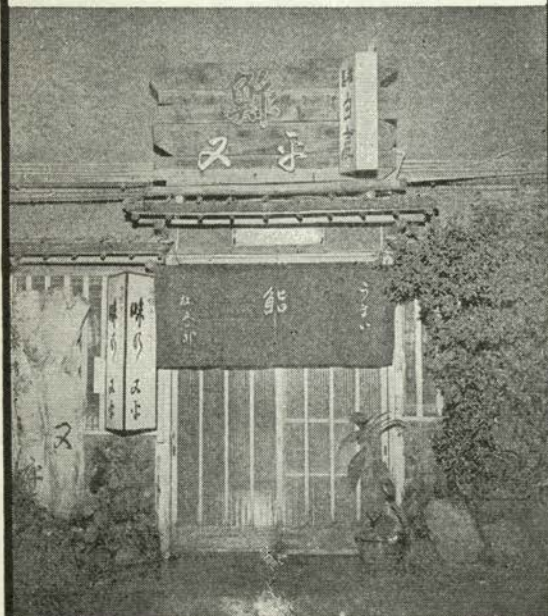
ご贈答にどうぞ

直輸入羅紗専門店・紳士服・婦人服

シマキ洋服店

神戸店 生田神社東門筋 ③7950・8055 ③92597  
大阪店 北区梅ヶ枝町92ヤノシゲビル1階 (362)9515

神戸っ子の味覚に  
ぴったり、又平の早馴れ鮓



□又平クイズ□答・林又一郎でした。  
正解者・神戸市東灘区魚崎町 坂元三重子様他  
10名様に商品引替ハガキを御送りいたします。

神戸三宮生田ノ社ノ西

鮓の又平

電話・三の宮 ③ 0935



松阪肉の炭焼きビフテキ  
ヘレ肉のバター焼  
伊勢海老料理・水だき



30名様前後までの ご宴会を承っております

ビーフレストラン松阪

三宮・柳筋 TEL ③2155・2154



世の中の大人達に対して不満は感じないんですよ。政治家は特に自民党なんか嫌いですからね。

古林 ふーむ、そうですね。今の若い者は自民党のやっていてのこととは受け入れられないんじゃないですか。君はどうですか。

山中 僕は天皇万才の方で(笑)

自民党でもいいですね。友達仲間でも、こういう考え方は僕ぐらいのもんですが、別に今の政治に対しては反感は感じないんです。吉田茂さんに勲章が授けられたことも、吉田さんの今までの業績に対して当然だと思えます。

古林 そうですかねえ。多木君はどうですか。現代の大人についての批判は。

多木 融通性がないことが挙げられますね。もつと時代に即した考え方をしつて欲しいと思います。

古林 そこなんだね、頭脳の弾力性がないんですよ、われわれには(笑) いや、よう分つとるんですが、こりやもう年のせいでしょうでもないんだよ。(笑)

十河 僕もやはり、古い世代のものの考え方、弾力性がないことが不満ですね。それと、あまりに自分達の過去の歴史や思い出にこだわりますと思うんです。

古林 われわれの過去は非常に長く、未来はもうわずかなんだ。それに反して君達には未来がどっさりある21世紀まで生きて月世界へランデブーにも行きたいが(笑) われわれの年になると、それも絶対に不可能なんですよ。だから、過去の歴史に思い出を求めるといふことになるんじゃないか。

石浜 私は、明治生まれの人達にはある種の尊敬の念をもってるん

です。

古林 ほう、尊敬とはありがたや、ありがたや。(笑)

石浜 というのは、明治生れの人たちの、その行き方が正しかったかどうかは別問題として、自分自身を賭けて、日本の国の発展のためにやって来たということは偉いと思います。

でも、大正と昭和の初期の頃に生れた人には抵抗を感じます。いろいろな面でこの年代の大人達にはビジョンがないし、理想もないんです。それで私達をどこへ導いて行こうとしているのかと思うんです。ビジョンがないから計画性と組織的な動きが出て来ないんです。日本という国が混沌としているのもそこにあると思います。

古林 若い人達からビジョンという言葉を聞くのはうれしですね、自分も若返つたような感じがしてね。それで、今の政治で一番不満なことと言いますと。

石浜 やはり教育問題ですね。日本には teacher がいい、educator がいないと思うんです。学科を教えることだけを取り上げますと、日本の教育の水準はとっても高いと思うのですが、子供達が、自分の頭でものを考え、独自の考えをもつように教え込むといったことに欠けてるんじゃないですか。

イスラエルの高校生達と話し合っただんですが、私の質問に対して彼等の意志を私は感じ取ることができたんです。自分達がイスラエルの国の為に将来どんな役割をするか、ちゃんと希望をもつて話していました。こういう若者達の担っていく国には志があると思うんです。日本の国の若者達もそうあり

## ピンク・コーナー



プロ野球のN選手には、女性をしばりさせる性的魅力があるというのがある。それらの評判です。その第一の条件に彼の「胸毛」をあげる人がありますが、しかし胸毛というものはユニホームを着ていては見えるものではありません。彼の胸毛に接する幸運に恵まれた女性の数は知れたものと考えるのが常識です。

では、なぜ多くの女性をしばりさせるのか、原因を他に求めなければならぬでしょう。私は彼の長い顔にあると考える。昔は鼻の大小とアルものの大小とに相関関係があるという人相術がはやってたことがあります。ところが、この方は浴場での厳重審査によって、迷信に過ぎないことがバクロされました。新しい学説では、鼻よりもむしろ顔の長短の方に関係がありそうだとすることにまりました。なにしろ、馬という実例がありますから。歴史的に見ても、神社の絵馬の絵になぜ馬が多いのか大いに研究に値するといえましょう。

さて、N選手が愛用の太いバットをリユウリユウとしごいてバットボックスに立つ姿が、女性ファンをワクワクさせるのではないのでしょうか。長く太いバットは男事な男性のシンボルです。彼の打撃ぶりを評して「巨砲」とは、いみじくもいったものかな。(T)



たいんだけれど、青春を賭けてやる  
ことが何であるかも見当がつか  
ない有様なんだと思います。

古林 実際、日本の立場を考え日  
本人としてほんとうに生きてい  
こうとする人間が少いということ  
ですね。

山中 そういうことがこの頃自覚  
されて来て、それで池田総理の言  
う人間づくりがクロージアップさ  
れてきたのちがいますか。

石浜 日本の明治の人たちが持っ  
ていたあの意気というものを今の  
日本に求めるのは無理かも知れま  
せんが、イスラエルにはそういう  
意気があふれているようです。

松原 僕も日本の自民党には絶望  
を感じていますね。愛国心という  
ことをやかましく言い出したのは  
疑問に思っていることなんです。  
ほんとうの愛国心というのは今か  
ら作って行くべきじゃないかと思  
うんです。偏狭な日本の視野など  
捨てて世界的な視野でもって。

古林 なるほど、これから新らし  
い意味をもった愛国心が生れてく  
ると思うわけだね。

### 私たちの愛する神戸の ビジョンについて

古林 最後に、みなさんの目から  
見た神戸のよさ、将来にのぞむこ  
となどおききしましょか。

松原 観光都市ということになっ  
てますが、それはそれでいいとし  
て、京都なんか比べて、もっと  
もっと文化都市としての充実を計  
ってもらいたいと思うのです。

美術展覧会や音楽会などでも、神  
戸を素通りして行ってしまう場合  
が多いし、とても残念ですね。ぜ  
ひ文化政策として考えていただき

たい問題だと思っています。

山中 何んといっても、都市整備  
を行ってほしいです。

多木 長い間住んでいます、海  
あり山ありでほんとにいい街だ  
と思っています。不満なのは、やはり  
文化方面の自治です。夢のかけ橋  
やポートタワーも結構ですが、も  
っと美術館などほしいですね。

十河 六甲台あたりの空気はすご  
くうまいし、ゼミが終って外に出  
ると、夜景が又すばらしくてね、  
神戸大学へ入ってよかったと思  
います。心配なのは、神戸が将来ど  
ういう方向に発展してゆくかとい  
うことです。観光都市として伸び  
てゆくのか、それとも産業都市と  
してか、文化都市としてか、又国  
際都市としても、いわゆる総合的  
に発展するもいいですが、どこか  
にポイントをおいて当面のビジョ  
ンを作り上げてほしいです。

石浜 私は自分が生まれて育った  
街ということで、他の大きな都市  
に比べて、あまり抵抗を感じない  
から好きですね。神戸の市政にお  
願ひしたいことは国際都市神戸と  
して、もう少し住宅のことを考慮  
してほしいと思います。マンモス  
アパートより少し規模の小さいの  
を山の手あたりでどんどん建てて  
環境整備の方も同時にやっていた  
だけたらと思うんですが。

古林 神戸は外国の観光客を迎え  
る玄関口なんです。皆京都や奈  
良へ行って神戸は素通り。外人の  
足を引きとめておくだけの魅力が  
ないのが原因ですね。神戸にも、  
京都や奈良のような座敷を作っ  
てもらいたいということを原口市長  
にお願いするというところで結論と  
いたしましょう。

〈神戸オリエンタルホテルにて〉

### ピンク・ コーナー



日本のヌエという想像上の動物  
は、頭はサル、胴体はタヌキ、手  
足はトラ、シッポはヘビという組  
み合わせ。ギリシャ神話に出るカ  
イマアラという動物は、シッポは  
ウワバミ、胴体はなんだかハッキ  
リしないが、ものすごいのはその  
頭で、ライオンと山羊とヘビとい  
う三頭立て。とにかく昔の人間は  
恐怖心のあまり、いろいろと強そ  
うな動物を集めて、その部分を組  
み合わせて、さらにより強い空想  
上の動物をつくり上げました。

女性の肉体美を讃美したルネサ  
ンス時代には、組み合わせ動物の  
やり方をマネて、ひとつ飛び切り  
上等の美女をつくり上げてみよう  
ということになりました。こんな  
歌があります。「頭はペーメンの  
国から、二つの白い腕はブラファ  
ントから、お乳はシュバーベンか  
ら、ヤリのように突き出た二つの  
乳首はケルンテンから、お腹はオ  
リストリアから、おシリはボーラ  
ンドから、それにバイエルのフ  
ートがきます。二つの足はライ  
ンから、そういうのが美しい女で  
ありますように」  
「フートってなんだって、ヤボ  
なことは聞かっごなし。別の歌で  
は「フランスからは女の小ヤブレ  
ということになっています。さて  
日本からこのオリンピックに参加  
することになると、どんな部分を  
送ればよろしきや？」

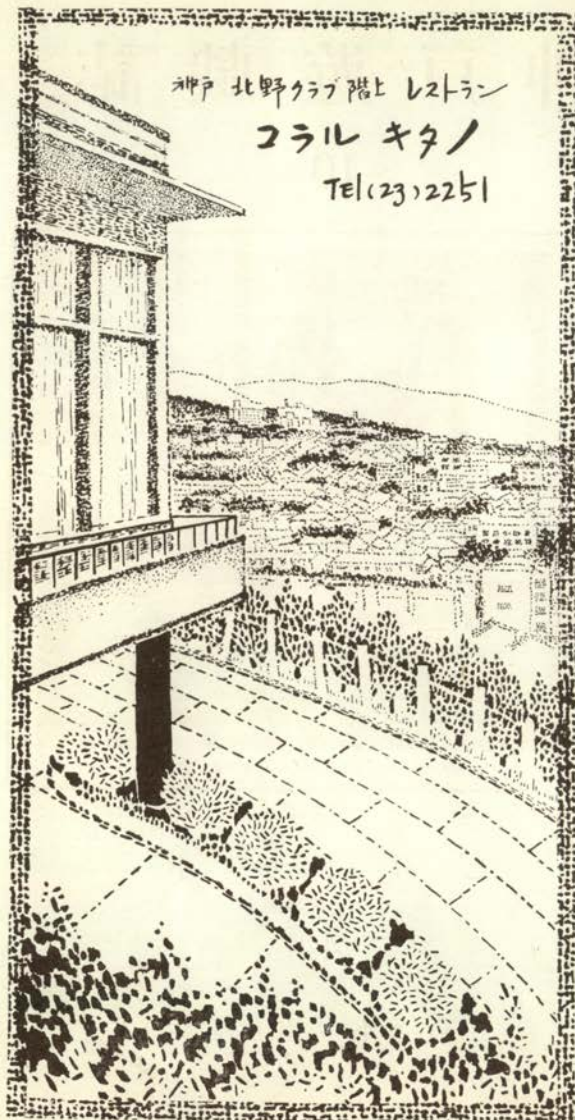
(T)



神戸北野クラブ階上 レストラン

コラル キタノ

TEL(23)2251



最高を誇る神戸肉!

鉄板料理定食

650円

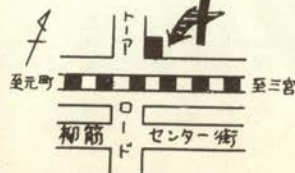
土、日、喫茶

キャンドルタイム



Grill & Tea Room  
バター焼 喫茶 candle

きゃんどる



クラス会・コンパ

¥650より

営業時間

AM12.00~AM1.00

神戸三宮トアロード

高架山側東角99991

# 神 戸 遊 戯 誌

10



日の出撞球場で玉突きをする故火野葦平氏

ビ リ アード

4

青 木 重 雄

終戦後一番早く復活したのは、三宮にできた不二撞球場（阪神電鉄元町地下街）だった。昭和二十年十一月三日開店というから、まだ進駐軍が盛んに街を歩き回っていた頃で、進駐軍専用からいち早く一般人に解放されたものだった。続いて、二十三、四年頃には生田クラブ、加納町三クラブ、紅白撞球場（元町）、湊クラブ（同上）、名古屋クラブ（新開地）、日の出撞球場などが生まれた。昭和二十年暮れか二十一年春に三宮生田新道山側にある大陸食堂の右側を北へ上がって間もなくのところにボーケライン愛好者専用の風変わりな撞球場があったことも忘れられない。このメンバーの一人だった甲斐氏の話だと、仁井田とかいう土建屋さんの音頭取りで小屋が建てられたが、お粗末な土間の上へだれが持ってきたのかボ式台をたった一台置き、入会金を取って会費制で撞かしていた。店の名も会の名もない撞球場だったが、ボーイ

さんが一人いて毎晩十人近くの会員が集まって楽しんでた。甲斐氏と岸本一郎氏は常連、故河原、小方氏なども来ていた。なにぶん、敗戦直後のこととて万事お寒いありさまで、停電がよく起きたが、そのつどアセチレンガスをつけたり、自動車のバッテリーから電気をつけたり、苦心惨たんだった。だが、会員にとってはとても楽しい戦後の憂さ晴らしだった。中国人の藩さん（現在、三宮で喫茶店「月光」を経営）なども混じっていたが、今日では想像もつかない食糧難時代だったことを思うと、なんだかいぢらしい気さえさせられる。だが、この秘やかな遊び場所だった建物も土地も間もなく売られてしまった。同じ頃、生田街道の「ホワイト・ローズ」の向かい側に北鮮か韓国かの人が花隈の美妓にやらせていた「梨花」という名の四つ球のビリヤード場があったが、文子通り「梨花一朝」の夢で、その後この主人がピスト



ルで撃たれて死ぬと共に店も姿を消してしまった。

二十七、八年頃になると、三宮辺の玉突屋はしだいに昔の姿を取り戻し始めていろいろな客が出はいりし出した。昔の客も顔を現わしたし、大学生なども来るようになった。作家の白川渥氏と終戦後の暗黒時代から六甲の自宅附近で毎日のように撞いていたが、二十六、七年頃に開かれた灘区の撞球業者の組合主催の第一回四つ玉撞球大会に出てみごとに優勝した。決勝戦は白川氏は持ち玉八十点、相手は百二十点だったが、悠々と優勝してかねて欲しいと思っていたキューを賞品にもらった。翌年も連続優勝したが、三年目は負けた。二年目の試合は賞品が浴衣(ユカタ)だったため大してほしくなかったのが、三年目は欲しい賞品だったので思わず緊張し過ぎて負けてしまった。やはり勝負の時はリラックスな気持ちでないと勝てぬものだ、と同氏はつくづく覚ったそう。

戦後外人の間でもクラブなどでの試合が盛んに行なわれていた。KRACやインディアン・クラブ(インド人が主)塩屋カントリー・クラブ、中華クラブ、インディアン・ソシアル・クラブ(青谷)などでは毎年紅白試合が行なわれたものだ。また、スリー・クッション、ローテーション、四つ玉とも毎年プロ、アマの全日本大会が開かれているが、どの大会でも神戸の選手がよく活躍している。昨年の全日本アマ・スリー・クッション大会に優勝した木村選手も神戸の人である。このほか、昭和二十七年からはアマの兵庫県知事盃四つ玉争奪戦が神戸新聞、デーリースポーツ主催で、三十四年からは国際会館で近畿四つ玉争奪戦が行なわれたが、その後中止になったことは惜しまれる。なお、県知事盃四つ玉争奪戦の記録は現在も元町二丁目の太白撞球場に残っている。また、戦後から今日へかけて、青い目の水兵たちが市中の撞球場で撞いている風景がよく見られたが、どうも彼らのプレイよりはあまり格好がよくない。その点、日本人

の方が姿勢がよく、目もよく効くようだ。

神戸の文化人仲間では、白川氏のほかには久本弘一(洋画家)、新谷秀雄(彫刻家)などがうまいが、東京では故火野葦平や安高徳蔵氏あたりが上手だ、と日ごろ白川氏は語っていたが、その火野氏が三十四年ごろ講演旅行でヒョッコリ来神したことがある。この時、筆者(青木)は一夜故小松清らと共に火野氏のお伴をしてアルコールを飲み、日の出ビリアードで遊んだが、「ぜひ、白川氏と一戦を交えたい」という氏の申し出にもかわらず、同氏はいにくと白川氏が不在だったため手合わせが実現しなかったことは実に残念だった。その後、火野氏が他界されただけに、よけいにその感が深い。「あの時おれば、七本(三百五十点)は突くと豪語した火野氏と、世紀の一戦」が戦かえたのに」と、後日白川氏が私に語ったことも今は悲しい思い出である。ついでに、文章となった玉突きのことを調べてみると、正宗白鳥の作品に「玉突」という短篇があるし、他にも玉突きのシーンが出てくる小説にちよいちよいお目にかかる。

最後に面白い話を一つ二つ紹介しておこう。玉突きが一番面白くてしょうのない時期は五十か六十ぐらい撞く頃だといわれているが、白川氏がかつて某撞球場で知り合った若い小学校校長にこれぐらいの腕前の人がいた。案にたがわず、なんでも丸いものでさえあれば玉突きの玉に見えるという熱中ぶりだったが、運動会の時式台へ上がったところ、なんと、生徒の赤帽、白帽がまさしく玉突きの玉に見えたそう。イヤハヤとんだイカレ話だと読者は思われるかもしれないが、白川氏自身もこれによく似た思い出があるそう。戦前のことだが、白川氏がまだ若くて教員をしていた頃、ある晩玉突きをすませて下宿へ帰る途中、ふと空を見上げると、北斗七星が玉にみえて仕方がなかったそう。最近同氏はゴルフに転向しているが、ゴルフをやっている玉突きの体験が非常に役立つとのこと。全く玉の「ご利厄」はスポーツ好きには一生ついて回るものらしい。(三九・五・二六)

# 神戸うまいもん巡礼

No. 22

赤 尾 兜 子

## 西洋料理の巻

料理に味第一はむろんである。しかし、味にさらに、その味を楽しむいいフンイキがあると、味はより冴え、気分もまた爽快である。

神戸は天恵で海と山にめぐまれてゐるから、その海と山、そして味、三拍子そろった店が当然ほしくなる。そのくせ、現状はなかなかない。

北野クラブのレストラン「コラルキタノ」(生田区北野町一)は、そうした興味を果たすに向いてゐる。

北野町の坂道をのぼりきつたところにある北野クラブの二階のグリルが、それ。十五卓、約八十人くらい入れ眼下に、神戸の街並とその向うに港が手にとるように見える。神戸っ児は、山と海にふだんから馴れきつてゐるので、さほど食指を動かさないが、他郷からやって来た人には、山、海はひどく印象的らしい。夜景もいい。すこし誇張していうと、香港あたりの丘にあるホテルで食事してゐるような感じと表現してもいい。ミュージックがつねにかそかにただようフンイキの配慮もよしとしよう。

ここでの美味は、ステーキである。ヘレ肉の四等ばかりの厚味のを丸い形にし、ペーコンで巻いたスタイル。オーブンで二十分ばかりじんわり焼きあげる。ふつうのステーキとくらべると、まわりをつつんだペーコンの味が舌にまざって乗るので、より脂っこい感触である炒(いた)めポテトと野菜が付き、ランチのコースでとるとフロインド・リープのパンも出て一〇〇〇円。

フランス人は、生焼きを好んで、ブランドーや赤ブドウ酒を口にふくみながら、これをよく食べてゐる。それからオードブルがいい。これだけ食べて帰るわけにはいかぬが、ついには賞味をすすめたい。伊勢エビ、スモークサモン(鮭の燻製)など品ぶれも二十種ほどあるから。つまりこれらは、コックの柴田さんの腕になるのが美味たるゆえん。日本郵船の外国航路に乗り、船をあがって、戦前のトリア・ホテルのチーフ、その後オリエンタルホテル・グリルのチーフという経歴をもち、それだけ、仕事に幅広い見識と腕があるからであらう。

客すじは外人四割、日本人六割、大学の女子学生のデール・マナーを習うための会やいろんなパーティーにも使われている。秋ごろ拡張して百人ぐらい収容できるようになる。

×

×

料理というより、むしろ軽食といった方がいいのだがここでサンドイッチを披露しておきたい。

国鉄ガードを北へトリア・ロードをあがった東側にある「デリカテッセン」(生田区北長狭通二丁目)のそれはちょっと比類がないものだ。もともとこの店は、ドイツのハム・ソーセージの小売店として、全国的に知られ小売店を神戸に開いたのは、戦後だが、静岡に工場があつて三十年近いメーカーの歴史がある。夫君の社長亡きあと、未亡人の高橋女史が、いっさいを切り盛りし、スモークサモン、ボンレスハム(ヒツコリーハム)ボロナ



ソーセージ、レバーソーセージなど自家製品の販売と、輸入チーズの数々を売っているが、店へくる客たちが、こうした商品をテストするのに、サンドイッチをつまみたいというので、三年前から、店の奥の一隅ではじめたのが、このサンドイッチルームができたわけ。

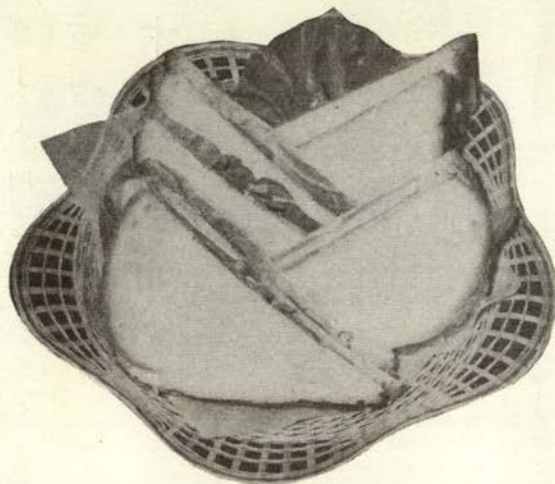
というわけで、座席は、カウンターに十ばかり。しかも、サンドイッチといっても、外見は、ごくぶっきらぼう、パンのふちはついたまま、そこいらのもののように画一にきれいにそろっていない。ハムやソーセージが、パンからはみだしたりしている。竹カゴにのせて出るところが、その味は、およそ常識的なサンドイッチの味を、はるかに大きく抜いている。パンにはさんである中身が、全然ちがうからだ。中身によって、こうまで味がちがう、私は、うたた感慨を久しくしたものである。

その上、客の厚さかげんの注文を聞いてから、品物を切り、目方をはかって、それで値段を決める、このこまかい神経の使いぶりも、当節のマスプロ時代にはなかな

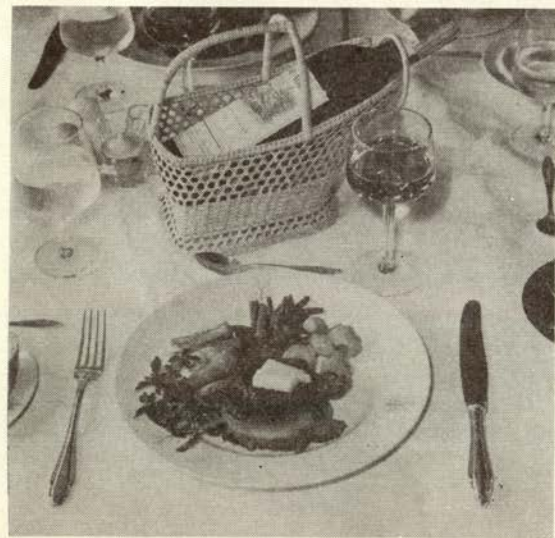
かにない風景。そこいらにも、おのずと店のあり方が反映しているというもの。

こうした店はえがたく、このサンドイッチもむろんえがたい。東京あたりから来た名士に、いちど賞味させたら、おそらく日本一のサンドイッチと折紙をつけるのではないか。

値段は中身の厚さによって、ちがいがあがるが、大体のところは、二重ねでハム一五〇―一八〇円、ローストビーフ一六〇―二二〇円、各種ソーセージ、一二〇―一五〇円、輸入チーズ一二〇円、スモークサモン一六〇―一八〇円で、手軽な一食分には、最適である。ただし店の方は「これで営業しているのではなく、いわば正味で、なじみ客との親睦の場が、サンドイッチルームのようなものです」という。サンドイッチだけを食べて帰って、トがめられることはないが、店の良心も考えて、何か一品ぐらい、ハム、ソーセージなどを買い帰るも、エチケツトというものであろう。



写真上はデリカッセンのサンドイッチ



写真下はコラルキタノのキタノ・ステーキ

## How to be a gentleman

## オヤジ紳士

文・竹田洋太郎  
え・鴨居 玲

青少年の不良化はいまや世界各国で深刻な問題となっている。わが国では敗戦後、多くの人がやかましく対策を論じているにも拘らず一向に実効が上がっていない。さらに、非行青少年といわれる子供たちの中で、最近では、中産、上級階級の子供が多くなっていることが注目される。貧困より生ずる不良化は全般的な政策による改善をまつとしても、一般家庭、とくに紳士の家庭より、そのような子弟を出すことがあれば、紳士の恥というより、父兄の紳士性の欠除と見なしでもよいであろう。青少年非行増加は、日本においては家庭における男性の地位の低下と奇しくも交叉線をたどっていることに気がつく。つまり「オヤジ」の値打ちが下がったことが一つの原因と見なされる。

それは、父親が息子を厳しくしつけるといふ、日本古来の伝統、西洋騎士道の理想が行なわれないことを意味する。そして子供の教育が母親と学校との共謀により、いちじるしくゆがめられたのである。

そこでもし、正しい家庭と、正しい教育をめざすならば、母親と学校教師の陰謀を粉碎し、とくに男子に対して紳士の訓練を施する権能を紳士である父親が回復しなければならぬのである。

現在いうところの「試験地獄」はだれによってつくられたかを考えて見よう。日本に教育制度が定っていらした試験はつきものであった。学校によっては競争は激しかった。だが受験生も、父兄も、それを「地獄」とは考えていなかったのである。試験をめざし勉強するをことも、

いわばスポーツの一種であり、落ちれば落ちたので適当なところを目指すべく、本人も父兄も割り切っていた。

ところが現今「東大でなければ」とか「一流校でなければ」というのは、まず母親である。そして子供を愛するふりをして、子供を「受験奴隷」の境遇におとしているのも母親である。しかも学校教師は母親の意志に迎合して「おたくの子供さんには家庭教師をつけなければ」等々、母親の理不尽な欲望をそそのかすが如き言辞を弄している。

かくて大学入試に合格すると、母親は訪問着を着飾り意気揚々と入学式に参列する。戦前大学の入学式に母親が出席するのは、不幸にして身体を欠いた学生の場合に限られた。

学校はかくして、母親の欲望に応える一種のレジャー産業と化している。一流幼稚園より一流大学まで、子供をボールとし、試験をピンとする母親のためボウリング場にほかならない。

そこで父親としてなすべきことは、紳士ならいうまでもなく子供を紳士とすることである。一言にしていえば子供が紳士として将来当然受けるべきイジワルを、できるだけ早い機会から行うことである。

かつて大名といわれた人も、わが子を雪の中で素足で歩かせた。(オール読物六月号・子母沢寛の小説「香亭先生伝」参照) 日本では皇族を軍人にするときめてあったのは、天皇を大中帥とする組織の維持よりも、とかく軟弱に流れる皇族・華族の子弟に厳格な訓練を施すため



## 「別冊紳士入門図解」



「師走」ってえのは、まさか先生が、アルバイトではしりまわる事じゃないでしょうね。

ところで、こんな話がおまんね!!

息子の中学進学に就いて、父母会に出た私の友人は、担任の先生から、「おたくの息子さんは、家庭教師もつけていないから、A校よりC校の方が良いんじゃないですか……」と言われた。しかし、その家庭教師というのが自分の事。自分のクラスの生徒の家庭へ、おのれが、ぬけぬけと家庭教師に行く。週何回かで一万円也!! 全く馬鹿にするなってんだ。文部省等とよくけんかしている先生の組合等では、こんな事問題にしないのかね——。イイタカアナイガメンドウミテヨ!! 宝塚某小学校での話。

レイ・カモイ

であった。肉体的精神的にイジメられてこそ、紳士たるの資格が生じるのである。現在、マスコミその他にイジメられても泰然たる態度を崩さない紳士の典型エジンバラ公は、無名の海軍士官として困苦欠乏にたえてきたことを忘れてはならない。

イギリスの紳士を育てるのは、イーストン校等パブリック・スクールであるが、これらではいまま尚、嚴重な体罰が課せられているのである。紳士の資格は知識の豊かさでなく、イジワルに耐えぬく不撓不屈の精神と、正邪を判断する能力である。子弟にはカメラやステレオを買って与えるより、柔道着か木刀を買って与えるべきであらう。

母親と教師の共謀のいちじるしい例は教師への贈り物である。子供が学校に入ったからと担任教師に贈り物をするのが常識となっているが、教師への感謝の意味から

進級後、卒業後、世話になった先生へならともかく、前以って贈り物をするのは、汚職とはいえぬまでも、それに近いのである。筆者の先輩某氏は先生への贈り物を子供の進級、卒業後に限っている。もって範とすべきに足る。

最近のように大学が簇生してくれば、近い将来、大学卒の学歴は意味がなくなるものと予想されるが、その時こそ、レディーメードの学歴をもたない若い紳士が、世のリーダーとなるだろう。そういう紳士を育てるのはオヤジである紳士の責任である。だからオヤジ紳士は毎朝木刀の素振り千遍を行って、有効な一撃をときに子弟のオシリに加えられるよう鍛練にはげまれたい。厳父慈母が紳士の家庭の理想であるが、現今は慈父嚴母の時代である。よろしくゴルフのクラブを木刀にかえるべきであらう。